

# Outline of Shimane University Library

島根大学学術情報機構  
附属図書館概要

2013

# 島根大学学術情報機構 附属図書館の理念と目標

## Philosophy & Purpose

### 理念 Philosophy

島根大学は、社会の発展と進歩に貢献するため、豊かな人間性と専門性を身につけた人材の養成を使命とし、創造性ある研究の促進や地域連携を推進しています。（「島根大学憲章」より）

附属図書館は、島根大学における学修、教育、研究を支援するための基盤施設として学術情報の収集、提供に努め、また、地域や国際社会との連携をすすめ、地域に根ざし、社会に貢献できる図書館を目指します。

On our mission of developing personnel with rich sense of humanity and necessary expertise, Shimane University promotes creative studies and enhances a regional cooperation to contribute to the society. (Shimane University Charter)

As a center of learning, educational, and research center of the university, Shimane University Library aims to acquire academic resources and provide them to users. We try to be a library making a social contribution in local and global interactions.

### 目標 Purpose

#### 1. 学修・教育支援のための資料と環境の整備

学生の学修を支援するため、充実した資料と学修環境を整備し、人格を育む教育を目指して、学内の教育研究プログラムと連携した教育支援を行います。

#### 2. 研究支援のための学術情報整備

多様な分野の特色ある高度な研究を支援するため、国内外の学術情報の収集整備に努め、これらを効率的に利用できる電子図書館機能を充実します。

#### 3. 地域の学術情報拠点としての連携協力

地域の特性と大学の特色を生かした企画、運営をすすめ、地域の学術情報拠点として、資料提供、連携企画、情報発信等を積極的に行います。

#### 4. 学術コミュニケーションへの貢献

本学の研究成果や貴重資料を世界に向けて発信し、学術コミュニケーション活動に貢献します。

### 目次 Contents

理念と目標 Philosophy & Purpose

歴代館長／組織図 Library Directors / Organization Chart 1

沿革 History 2

特殊コレクション・貴重資料 Original Collections & Valuable Materials 4

研究開発室 Research & Development Groups 8

デジタル・アーカイブ Digital Archive 9

学生協働 Peer Support 10

出版事業 Publications 11

社会連携 Public Relations 12

建物 Buildings 13

施設 Facilities 14

アクセス・マップ Access & Map

表紙 / 堀尾期松江城下町絵図（部分）

# 歴代館長／組織図

## Library Directors / Organization Chart

### 歴代館長 Library Directors

#### ■旧島根大学

増田 渉	文理学部教授	昭和25年 3月18日～昭和28年 2月28日
今石二三雄	文理学部教授	昭和28年 4月15日～昭和35年10月31日
長沢 徹	文理学部教授	昭和35年11月 1日～昭和37年10月31日
大坪 併治	文理学部教授	昭和37年11月 1日～昭和43年10月31日
坂本 四郎	農学部教授	昭和43年11月 1日～昭和45年10月31日
小原 幹雄	文理学部教授	昭和45年11月 1日～昭和47年10月31日
内藤 正中	文理学部教授	昭和47年11月 1日～昭和49年10月31日
秋山 優	教育学部教授	昭和49年11月 1日～昭和51年10月31日
細野 誠之	農学部教授	昭和51年11月 1日～昭和52年 5月15日
松本 宗人	農学部教授	昭和52年 5月16日～昭和54年 5月15日
内藤 正中	法文学部教授	昭和54年 5月16日～昭和56年 5月15日
大氏 正己	理学部教授	昭和56年 5月16日～昭和58年 5月15日
三浦 清	教育学部教授	昭和58年 5月16日～昭和60年 5月15日
田中禮次郎	農学部教授	昭和60年 5月16日～昭和62年 5月15日
入谷 仙介	法文学部教授	昭和62年 5月16日～平成 元年 5月15日
吉川 通彦	理学部教授	平成 元年 5月16日～平成 3年 5月15日
道重 哲男	教育学部教授	平成 3年 5月16日～平成 5年 5月15日
高橋 徹	農学部教授	平成 5年 5月16日～平成 7年 5月15日
佐々木允臣	法文学部教授	平成 7年 5月16日～平成 9年 5月15日
山崎 稀嗣	総合理工学部教授	平成 9年 5月16日～平成11年 5月15日
木村 東吉	教育学部教授	平成11年 5月16日～平成13年 5月15日
松野 焯	生物資源科学部教授	平成13年 5月16日～平成15年 5月15日
渡邊 貞幸	法文学部教授	平成15年 5月16日～平成15年 9月30日

#### ■旧島根医科大学

深瀬 政市	学長(事務取扱)	昭和50年10月 1日～昭和54年 1月31日
森 忠三	教授 小児科学	昭和54年 2月 1日～昭和56年 1月31日
中村 和成	教授 解剖学	昭和56年 2月 1日～昭和56年 9月20日
田村 喜弘	副学長(事務取扱)	昭和56年 9月20日～昭和56年12月31日
服部 圭佑	教授 薬理学	昭和57年 1月 1日～昭和58年12月31日
小瀧 信夫	教授 心理学	昭和59年 1月 1日～昭和60年12月31日
野手 信哉	教授 内科学	昭和61年 1月 1日～昭和62年 3月31日
島田 宜浩	教授 内科学	昭和62年 4月 1日～平成 元年 3月31日
齋藤 肇	教授 微生物・免疫学	平成 元年 4月 1日～平成 3年 3月31日
森山 勝利	教授 内科学	平成 3年 4月 1日～平成 5年 3月31日
前野 颯	教授 生理学	平成 5年 4月 1日～平成 7年 3月31日
瀬戸川朝一	教授 眼科学	平成 7年 4月 1日～平成 9年 3月31日
榊村 純生	教授 生理学	平成 9年 4月 1日～平成11年 3月31日
森川 茂	教授 病理学	平成11年 4月 1日～平成13年 3月31日
加藤 譲	教授 内科学	平成13年 4月 1日～平成15年 3月31日
山根 洋右	教授 環境予防医学	平成15年 4月 1日～平成15年 9月30日

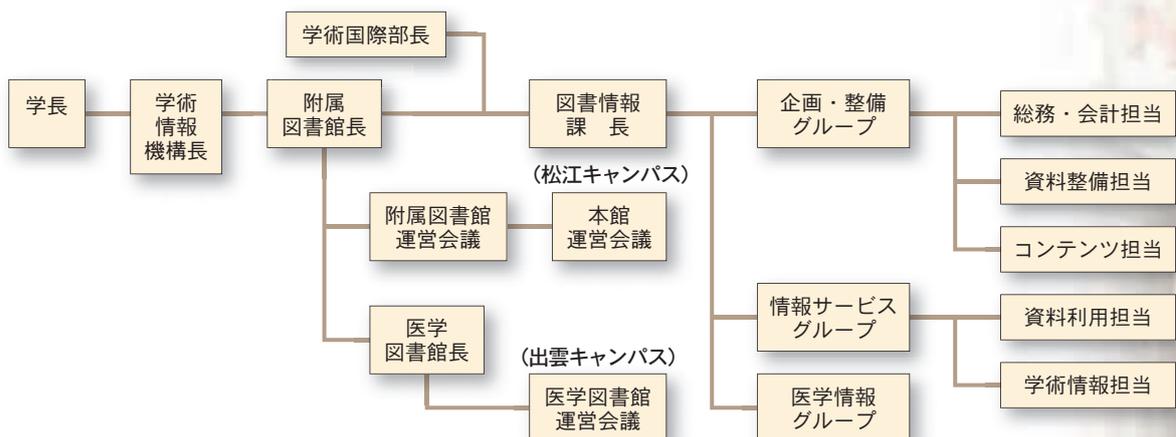
#### ■本館

渡邊 貞幸	法文学部教授	平成15年10月 1日～平成16年 3月31日
高安 克巳	学術国際担当理事(副学長)	平成16年 4月 1日～平成19年 3月31日
平川 正人	総合理工学部教授	平成19年 4月 1日～平成23年 3月31日
田籠 博	法文学部教授	平成23年 4月 1日～

#### ■医学図書館 (医学分館)

山根 洋右	医学部教授	平成15年10月 1日～平成16年 3月31日
吉村 安郎	医学部教授	平成16年 4月 1日～平成18年 3月31日
高島 利一	医学部教授	平成18年 4月 1日～平成20年 3月31日
富岡 治明	医学部教授	平成20年 4月 1日～平成24年 3月31日
廣田 秋彦	医学部教授	平成24年 4月 1日～

### 組織図 Organization Chart



## 旧島根大学附属図書館

1949(昭和24)年 5月	島根大学設置と同時に、包括校である松江高等学校図書課(松江市)、島根師範学校男子部図書課(松江市)、島根師範学校女子部図書室(浜田市)及び島根青年師範学校図書室(出雲市)を引継ぎ附属図書館発足	
1950(昭和25)年 4月	出雲分教場図書係を附属図書館松江分館に統合	
1952(昭和27)年 3月	浜田分館を附属図書館松江分館に統合	
1956(昭和31)年10月	附属図書館松江分館を、附属図書館教育学部分館と名称変更	
1961(昭和36)年 3月	附属図書館教育学部分館を本館に統合	
1965(昭和40)年 3月	附属図書館及び人文社会科学研究室棟(鉄筋コンクリート造4階建)、書庫(鉄筋コンクリート造5階建)を新築	
1966(昭和41)年 5月	紙本墨書「大智度論」巻62、巻67が島根県指定有形文化財に指定	
1967(昭和42)年10月	島根県立島根農科大学の国立移管に伴い図書を移管	
1974(昭和49)年 1月	図書館報「図書館情報」を創刊	
1978(昭和53)年 1月	附属図書館(鉄筋コンクリート造3階建、一部4階建)を新築	
1984(昭和59)年12月	附属図書館(鉄筋コンクリート造3階建、一部4階建、書庫8層)を増築	
1992(平成 4)年 5月	週休2日制に伴う土曜開館を開始	
1995(平成 7)年 6月	「図書館情報」を「松風」と改題	
1997(平成 9)年10月	学術情報係を1階に統合し、サービス部門を一元化日曜開館を開始	
1998(平成10)年 9月	島根地域図書館連絡会を設立	
2000(平成12)年 8月	外部評価を実施	
2001(平成13)年 3月	入退館管理システムを導入	
4月	遺跡資料室を設置	
2003(平成15)年 2月	図書自動貸出返却装置を導入 大韓民国慶尚大学校図書館と交流協定締結	

## 旧島根医科大学附属図書館

1976(昭和51)年 4月	仮校舎(出雲市大津町)に閲覧室を仮設し開館	
5月	本校舎(出雲市塩冶町)に移転	
1979(昭和54)年 3月	図書館棟を新築	
10月	日本医学図書館協会に入会	
1989(平成 元)年 4月	開館時間外特別利用(24時間開館)を開始	
1990(平成 2)年 8月	島根県医療関係機関等図書館(室)懇談会を設立	
1994(平成 6)年 4月	24時間自動入退館/貸出・返却システムを導入	
1997(平成 9)年 4月	日曜・祝日開館を開始	
2003(平成15)年 2月	図書館セミナー室を設置	

# 島根大学附属図書館

2003(平成15)年10月	島根大学と島根医科大学が統合し、附属図書館は本館と医学分館となる	
2004(平成16)年 2月	図書館報「凧雲」を創刊	
4月	国立大学法人島根大学附属図書館となる	
2005(平成17)年10月	本館において「教育者としての小泉八雲」を開催 医学分館において「島根にもたらされた華岡流医術」を開催	
11月	本館において「絵図の世界」を開催	
2006(平成18)年 1月	本館において第1回図書館蔵書リユース市を開催	
2月	本館において情報メディアルーム、第2貴重資料室、八雲文庫室を設置 医学分館において大森文庫室を改修	
8月	『絵図の世界』を刊行	
10月	医学分館において「在村医の画人的素養」を開催	
11月	『教育者ラフカディオ・ハーンの世界』を刊行	
2007(平成19)年 2月	島根県立図書館及び松江市立図書館との相互協力協定を締結	
6月	平成19年度国立大学図書館協会賞を受賞	
10月	医学分館において「江戸時代後期、郷土で活躍した医師」を開催	
11月	出雲市立図書館及び島根県立大学短期大学部出雲キャンパス図書館との相互協力協定を締結 合同企画による「出雲国に伝播した華岡流医術とその時代」を開催	
12月	医学分館の耐震改修工事が完了	
2008(平成20)年 3月	『華岡流医術の世界』を刊行	
4月	島根県大学・高等専門学校図書館協議会を設立	
8月	合同企画による「出雲にもたらされた華岡流医術の世界」を開催	
10月	デジタル・アーカイブシステムの運用を開始 合同企画による「アメリカのラフカディオ」を開催	
2009(平成21)年10月	合同企画による「江戸を旅する 明治に学ぶ」を開催	
2010(平成22)年 2月	学内共同企画による「旧制松高・師範学校時代の学問と教育」を開催	
4月	医学分館を医学図書館と名称変更	
5月	図書館マスコットキャラクター誕生	
10月	本館において図書館コンシェルジュが活動を開始 合同企画による「異国からみたニッポン」を開催	
11月	学内共同企画による「出雲・石見の人々と近世文学」を開催	
2011(平成23)年 3月	『ニューオーリンズとラフカディオ・ハーン』を刊行	
2012(平成24)年12月	『島根の国絵図』を刊行	
2013(平成25)年 2月	松江歴史館において「島根大学附属図書館コレクション展」を開催 本館の耐震・機能改修工事が完了	

## 本館 Main Library



### 大智度論

**紙** 本墨書大智度論は天平6(734)年に書写された石山寺一切経中「摩訶般若波羅蜜經」の注釈書で、全100巻のうち巻62(卷子本)、巻67(折本)の2巻を所蔵している。後の天安2(858)年に本文に付された訓点の一種である白点は、その時代に中国語をどのように翻訳していたか知る上でも貴重な史料である。昭和41(1966)年に鳥根県の有形文化財に指定された。



### 小泉八雲書簡

**八**雲(1850-1904)が英語教師として教鞭をとった松江中学校(鳥根県尋常中学校)の教頭であった西田千太郎(1862-1897)に宛てた自筆書簡45通と付属資料からなる。八雲は、西田が没するまで深い信頼関係に根ざした交友を続け、松江から熊本、神戸・東京へと居を移した後も多くの書簡が取り交わされた。所蔵している小泉八雲関連資料の中核をなすものである。



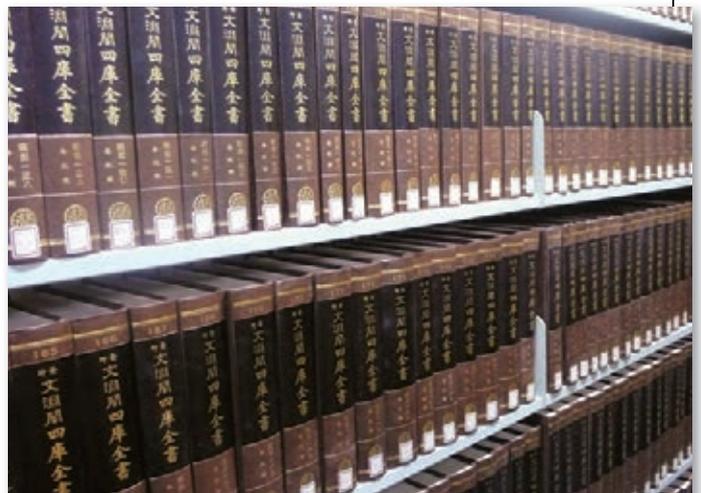
### シーボルト 授与の修業証書

**神**門郡荻原村(現在の出雲市荻原町)の医師西山砂保が、文政8(1825)年~文政9(1826)年に長崎鳴滝塾で医学修行を行った際に、シーボルトから高弟湊長安を介して授与された修業証書と、長崎までの他藩通鑑状及び宗門証状からなる。同様の修業証書は、早稲田大学(岡泰安に与えられたもの)とシーボルト記念館(高良齋に与えられたもの)に残るのみである。

### 景印文淵閣四庫全書

1985(昭和60)年度 大型コレクション

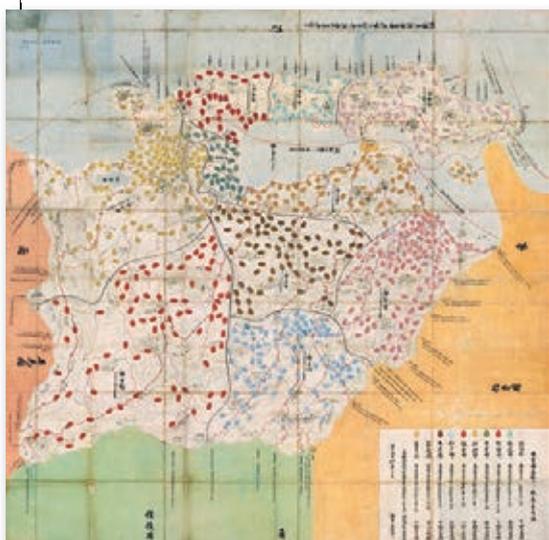
**四**庫全書は、中国清朝の乾隆帝の勅命により1772年から10年の歳月をかけて中国全土の書物を集め、経・史・子・集の4部に分類整理した漢籍の一大叢書である。7セットつくられたうちの1つが紫禁城内の文淵閣に収められた。その他のものも国内各地に蔵させたが、多くはアヘン戦争などの騒乱により焼失、散逸した。文淵閣の蔵書は1949年に台北市の故宮博物院に移され、その後1983年に台湾商務印書館により影印刊行が開始された。3,457種、36,000余部、巻数にして79,000余巻の書物が1,500冊に収められており、まさに中国の至宝である。



## 堀尾期 松江城下町絵図

元和6(1620)年～寛永10(1633)年 141×117cm

**松**江城築城と松江城下町の建設が完成した慶長16(1611)年から9年ないし22年経過した時期に作成されたと推定され、建設当初の松江城下町のプランや、近世初頭の城下町建設の構造的意図を分析する上で貴重な絵図である。本学の絵図コレクションの中心をなす史料である。



## 元禄出雲国絵図

宝永7(1710)年写 182×182cm

**元**禄15(1702)年に幕府に収蔵された国絵図の原本は残っていないが、平成10(1998)年になって、松江市内で原図と推定される絵図が見つかった。本館で所蔵している絵図は平成21(2009)年に古書店から購入したもので、原図からの写本と考えられる。元禄期の出雲が正確に描写されており、絵図の右下に、郡ごとの村数、石高とともに、松平庄五郎(松江藩第5代藩主、松平出羽守宣維)の名が明記されている。



## 松平期 松江城下町絵図 (桑原文庫)

文政8(1825)～嘉永4(1851)年  
39.5×49.8cm



## 寛永出雲国絵図 寛永10(1633)年 97×134cm

**江**戸幕府は、慶長・寛永・正保・元禄・天保の5度、諸国に国絵図の提出を命じている。寛永期は寛永10(1633)年の第1回巡見使派遣の際に作成された。幕府へ提出された国絵図の原本は残っていないようで、いくつかの写本が作られ伝世している。写本にも直接写されたもの、それをさらに写したものがあり、本図は2次的な写本と考えられる。



## 出雲国十二郡図

寛永13(1636)年 93×107cm

**幕**府に提出された国絵図とは別に、出雲国で独自に作成されたものである。狩野重右兵衛尉為信の手による。堀尾忠晴が没し、寛永11(1634)年に松江藩主となった京極忠高が行った治水事業のプランが示されている。意宇、能義、島根、秋鹿、楯縫、出雲、神門、飯石、仁多、大原の出雲十郡に加え、中海を天満郡、宍道湖を風郡としている。



## 堀文庫

**鳥** 根県津和野町の堀幸清氏の旧蔵書である堀文庫は、1,818冊に及ぶ江戸小説のコレクションで、主に「読本（よみほん）」（版本）と「実録」（写本）からなる。堀家は江戸時代初期から大規模な鉱山経営を展開し、明治以降、地元の殖産・教育等に尽力したことで知られる。堀文庫の書籍群は、江戸から明治期にかけて津和野で営業した貸本屋で使用された書籍で、何らかの経緯で堀家に伝えられたものである。特定の貸本屋の書籍がこれほどまとまって残る例は少なく、貴重である。



## 桑原文庫

**明** 治の先覚的な社会事業家であり、浮世絵や彫金など美術工芸の研究者としても著名な松江市出身の桑原羊次郎氏の旧蔵書及び自著、3,083冊からなるコレクションである。主に郷土関係の資料からなるが、あらゆる分野が含まれている。特に、松江藩地方役岸崎左久次（時照）が著した「出雲国風土記抄」、松江藩主の奥方が興入れの際に持参し「嫁入本」と通称される歌書や出雲国名所歌集、国絵図を始めとする多数の古地図など、貴重な資料が収められている。

## その他の文庫コレクション

- 竹崎文庫** 農学関係 約17,000点  
元島根農科大学長であった故竹崎嘉徳農学博士の旧蔵書
- 田中文庫** 農学、経済史関係 約8,000冊  
島根県農事試験場八田分場の元分場長であった故田中房太郎氏の旧蔵書
- 海野文庫** 漢籍、国書 1,061冊  
広瀬藩藩校の初代教授として迎えられた海野彬之と海野家の蔵書
- 天野文庫** 農学関係 485冊  
元島根農科大学の附属農場長であった故天野義夫教授の旧蔵書
- 足立文庫** 教育、文学、郷土資料関係  
境港市出身の郷土史家であった故足立正氏の旧蔵書
- 松江地裁明治文庫** 法学、判例関係 1,124冊  
松江地方裁判所から寄贈された明治期の法学関連図書や判例資料集



## 石見銀山周辺村落史料

石見銀山周辺村落史料として、次の文書群がある。

- ・熊谷家旧蔵文書〈大田市大森町〉(宝暦12年～大正7年) 731点  
石見銀山附幕府領を治めた大森代官所の、掛屋・用達を務めた熊谷家の旧蔵文書である。
- ・坂根家旧蔵文書〈大田市川合町忍原〉(宝永4年～明治2年) 757点  
銀山のための間歩用材や木炭を供給する銀山御囲村・炭方村に指定されていた忍原村で、代々庄屋を務めた坂根家の旧蔵文書である。
- ・林家旧蔵文書〈大田市五十猛町〉(天文8年～明治26年) 606点  
五十猛大浦で蔵宿を務めた廻船問屋林家の旧蔵文書で、毛利元就・隆元の「感状」など戦国時代の文書も含まれるが、多くは江戸時代後期の大浦湊の「御用留」「諸廻船客帳」や、「五十猛村上組庄屋」関係文書である。

## 島根県内農具図解 (田中文庫)

**明**治政府の殖産興業政策により産業が振興される中、当時使用されていた農具、農業の様子を詳細に記録した資料が島根県により編纂され、1881(明治14)年の第2回内国勸業博覧会に出品された。本書はその草稿とみられる。魚漁図解とともに、地域における産業、風俗など多方面の研究に利用できる貴重な資料である。



## その他の資料

八束郡美保関町片江「寺本家旧蔵文書」 481点  
御用日記、木綿改帳、人別差引算用帳などが含まれている。

富山大学所蔵「ヘルン文庫」 マイクロフィルム版 330巻  
1988(昭和63)年度 大型コレクション

ドイツ最高裁判所全判例集  
1980(昭和55)年度 大型コレクション

フランス法令集 359冊  
1992(平成4)年度 大型コレクション

## 出雲石見魚漁図解 ／因伯魚漁図解

**鳥**取から出雲・石見地方で行われていた多くの漁法について、詳細な彩色絵付きで解説したものである。図と解がセットになっており、近代化前の山陰の漁業164種が取り上げられている。農具図解と同様、島根県により編纂され、内国勸業博覧会に出品された当時の漁業に関する資料の草稿と思われる。原本の所在は不明で、東京国立博物館で写しの所蔵が確認されている。

## 医学図書館 Medical Library



## 大森文庫

**安**来市大森家旧蔵史料、約600冊の古医書を中心とする史料群である。江戸時代後期、大森泰輔は紀州華岡家(春林軒及び大坂合水堂)に医学修業に赴き、青洲口述の医書を多数筆写した。また、全身麻酔による手術の様子をはじめ、在塾中に見聞きしたことを詳細に記した日記を大量に遺した。その後、娘婿、息子も華岡家に学んでおり、遺された史料は華岡流医術にとどまらず、出雲国における医療活動の実態を知る上でも非常に貴重なものである。

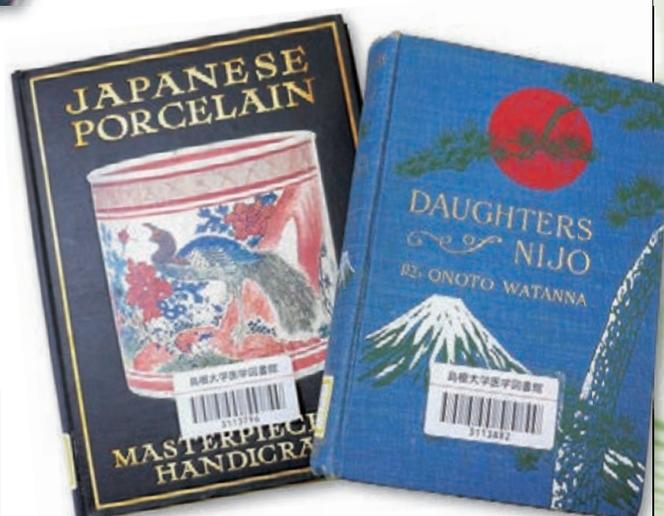
## 西東文庫

1988(昭和63)年度 大型コレクション

**W**esternization of Japan (江戸から東京へ：西洋から見た日本の近代化)をテーマに蒐集された、全827冊からなるコレクションである。大部分が1800年代後半から1900年代前半に出版されたもので、『大君の都』(Sir Rutherford Alcock)、『菊と刀』(Ruth Benedict)、『怪談』(Lafcadio Hearn)など多数の初版本を擁する。文庫名はゲーテの西東詩集(West-Ostlicher Divan)に因んで命名したものである。

## その他の資料

解剖学教育ビデオ集成 176巻  
1993(平成5)年度 大型コレクション



**附**属図書館研究開発室は、室員が専門的な立場から研究開発を行うことによって、図書館業務とサービスの高度化を図ることを目的として2006（平成18）年に設置された。附属図書館や地域の諸機関が所蔵する文書や和古書等の調査とデジタル化を進め、デジタル・アーカイブの公開を行うなど成果をあげている。

This organization was established in 2006 to enrich activities and service of our library by sponsoring specialists to do research and development and utilizing the results. Valuable archives owned by our library and regional organizations have been digitalized and made public as digital archives so far.

## 2008(平成20)年度

- ・学内及び地域の史資料の電子化 ～今浦文書・林家文書の宗門改帳など
- ・デジタル・アーカイブシステムの構築と公開
- ・3館合同企画展示・講演会  
「アメリカのラフカディオ」（会場：プラバホール）

## 2009(平成21)年度

- ・林家文書未整理分、定秀家文書、松尾家古医学史料などの目録作成
- ・学内及び地域の史資料の電子化 ～定秀家（松江市美保関町）など
- ・教科書データベースの作成開始
- ・3館合同企画展示・講演会  
「江戸を旅する 明治に学ぶ」（会場：島根大学附属図書館）

## 2010(平成22)年度

- ・学内及び地域の史資料の電子化 ～桑原文庫、本学所蔵の明治大正期の新聞マイクロ資料など
- ・出雲市内3館合同企画展示・講演会  
「〈異国〉からみたニッポン」（会場：出雲市立出雲中央図書館）
- ・図書出版『ニューオーリンズとラフカディオ・ハーン』

## 2011(平成23)年度

- ・林家文書・熊谷家文書（未整理分）、松本家資料の目録作成
- ・学内及び地域の史資料の電子化  
～手銭家（出雲市）、松本家資料、本学所蔵の昭和前期の新聞マイクロ資料など
- ・企画展示・講演会「資料探訪セミナー 松江地裁 明治文庫」（会場：島根大学附属図書館）
- ・仮想化システムの導入



## 2012(平成24)年度

- ・松江歴史館主催／附属図書館共催  
「島根大学附属図書館コレクション展」（会場：松江歴史館）
- ・図書出版『島根の国絵図：出雲・石見・隠岐』

## 2013-2014(平成25-26)年度 事業計画

- 1 桑原文庫の調査・研究
- 2 教科書データベースの作成
- 3 西東文庫の調査・研究
- 4 デジタル・アーカイブシステムの高度化



デジタル・アーカイブシステムは、学内外の歴史的・学術的な貴重資料や地域史料などをデジタル画像として収集、蓄積・保存し、大学や地域社会における調査、研究、教育活動に提供することを目的としている。資料価値の高い古典籍、古文書、絵図、写真類のデジタル画像データに、検索用のメタデータを付与して収録している。

Shimane University Library has been working on developing a "Digital Archive System" aiming at contributing to the research and education by proper management of collecting and storing of historical materials in digital forms.

## システム概要 機能・特徴

検索用メタデータを提供する検索サーバ、電子化資料本文を提供する画像サーバ、オリジナル電子化データのバックアップを管理するストレージで構成される。絵図など画像サイズの大きな資料はfpx, jpeg形式で、古典籍、古文書等の冊子資料はPDF形式で提供している。

- ・利用促進  
メタデータとリンクしたデジタル画像データをWeb上で多様に利用できる。
- ・公開ステータス管理  
コンテンツの内容、状況に応じて公開ステータス（学外／学内／非公開等）を管理できる。
- ・共同調査・研究支援  
調査・研究中の資料を、ユーザ認証により、研究グループで共同利用できる。
- ・地域資料アーカイブ  
地域の図書館や個人が所蔵する貴重な資料をデジタル化して掲載することで、資料の可視化と利用が促進される。
- ・保存対策  
高精細なデジタル画像を代替利用することで、資料の劣化や損傷が回避できる。
- ・権利処理  
所有者や著作権者との間で覚書を取り交わし、適正な管理を行う。

## コンテンツ収録状況と利用方法

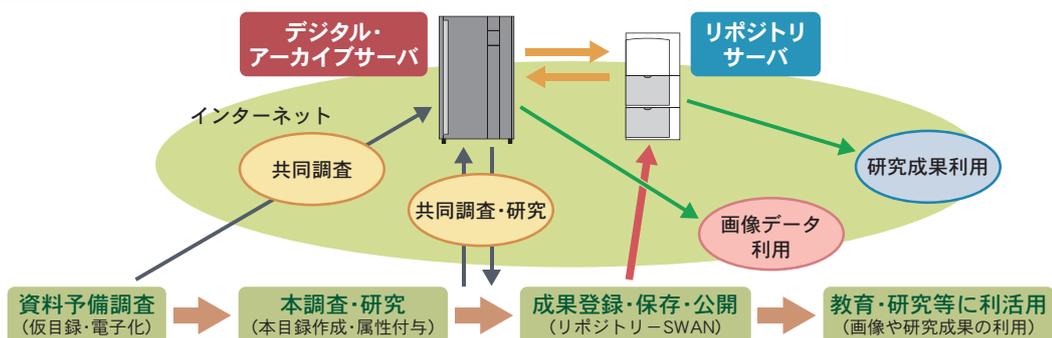
本学で所蔵する貴重資料のほか、地域の諸機関が所蔵する資料、調査中の資料などを含め、3,443点(222,461コマ) (平成25年4月現在)の画像データを収録している。

画像データは、附属図書館ホームページ上にキーワード検索とコレクション・リストから選択して利用する方法を用意している。限定公開の“認証利用コンテンツ”の利用については、予め申請が必要である。

- ・学内コンテンツ  
桑原文庫（絵図、歌書、歴史書など）  
大森文庫（医学書、記録資料など）  
新聞（山陰中央新報及びその前紙）、石見銀山周辺村落史料 など
- ・学外コンテンツ  
石井家（鳥取県）、池田家文書（隠岐郡）ほか多数



## 利用イメージ



※大学の紀要・研究論文などの成果物は、島根大学学術情報リポジトリ（SWAN）から公開している。

**教**育開発センターとの連携事業として、図書館利用者のサポートをする学生スタッフの制度（「図書館コンシェルジュ」）が2010（平成22）年度からスタートした。利用者である学生と同じ立場でアドバイスできる学生スタッフがいることで、より質問・相談しやすい環境を作るピアサポートの一環として、また、学生目線で図書館業務を見直し、自ら企画してサービス改善に取り組むという、これまでにない新しい試みである。

We started to station a group of students, named "Library Concierge" as the aid for users from 2010 school year, in cooperation with the Center for Educational Research and Development, Shimane University. This attempt is designed as a part of a project "Peer Support", aiming at aiding students by their peer, making friendly mood to ask questions and also creating new library activities by students with fresh viewpoint.

## 図書館利用サポート

**ピ**アサポーターとして利用者から図書館利用に関する様々な質問を受け付け、案内を行っている。質問内容は、図書館資料の探し方や文献検索方法、PCやプリンターの使い方など、図書館利用全般にわたる。



## サービス改善

**学**生の視点で図書館サービスを改善する企画を立て、個人または数人のグループで取り組んでいる。これまでに、テーマを設定した図書の展示を行ったり、館内マップや書架の分類見出版の作成など、利用者目線でのサービス改善に取り組んできた。また、学生自身の専門や特技を活かした、広報誌の編集、パスファインダーや貸出バッグの作成など、毎年多彩な活動が行われている。

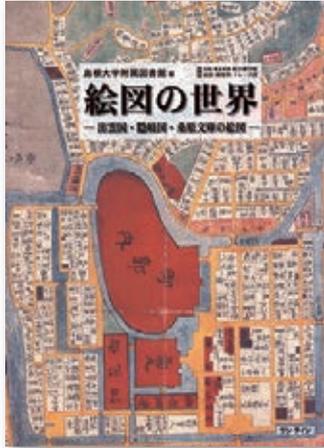


## 学生協働 交流シンポジウム

**大**学図書館で同様の取り組みを行っている山口大学、島根県立大学、梅光学院大学と協力して、年1回「学生協働交流シンポジウム」を開催している。他大学での取組みを共有することで、活動の活性化につなげている。毎年参加者が増えており、全国的にも注目を集めている。

所蔵するコレクションを地域に紹介した企画展示、講演会、シンポジウムの成果をまとめた図書を発行している。これまでに、5冊の図書を出版した。

These books listed below have been published to introduce library collections as the contents of library exhibitions.

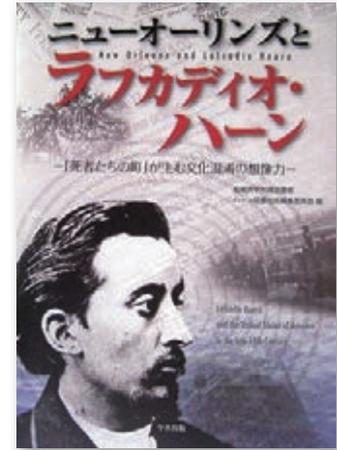


## 絵図の世界

出雲国・隠岐国・  
桑原文庫の絵図

島根大学附属図書館編  
ワン・ライン 2006.8  
ISBN : 4948756334 149p.

島根県における古地図の本格的出版としては初めての試みで、絵図18点に詳細資料を添え、フルカラーで解説している。付録に、A1判の「元和・寛永年間堀尾期松江城下町絵図」のトレース図が付いている。



## ニューオーリンズとラフカディオ・ハーン

「死者たちの町」が生む  
文化混濁の想像力

島根大学附属図書館ハーン図書出版  
編集委員会編  
今井印刷 2011.3  
ISBN : 9784901951739 290p.

来日前、アメリカ ニューオーリンズで新聞記者をしていたハーンを取り上げた。学術的な内容だけでなく、観光ガイドには載っていないニューオーリンズの知られざる一面や、ハーンが書いた挿絵入り記事の翻訳などを紹介・収録している。

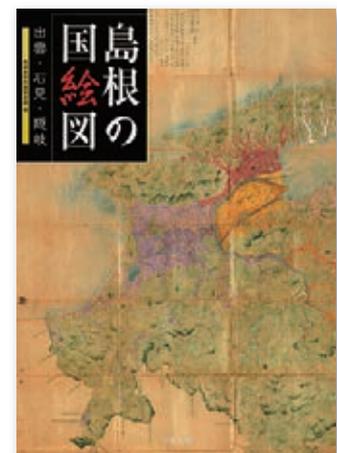


## 教育者ラフカディオ・ハーンの世界

小泉八雲の西田千太郎宛書簡を中心に

島根大学附属図書館小泉八雲出版編集委員会・島根大学ラフカディオ・ハーン研究会共編  
ワン・ライン 2006.11  
ISBN : 4948756369 495p.

ラフカディオ・ハーンの“教育者”という側面にスポットをあてた論文集。資料編として、ハーンの講演録や島根大学・広島大学・富山大学・東京大学・松江市立図書館などが所蔵するハーンの西田千太郎宛自筆書簡94通のカラー画像、翻刻、日本語訳を収録している。



## 島根の国絵図

出雲・石見・隠岐

島根大学附属図書館編  
今井印刷 2012.12  
ISBN : 9784906794157 174p.

附属図書館が収蔵している国絵図のほか、県内外の国絵図の写真85点を集めて解説を加えた。伊能忠敬による伊能図を経て、明治初期に近代地図が成立するまでの過程をたどっている。出雲・石見・隠岐の国絵図を体系的に集めて解説した初めてのものである。



## 華岡流医術の世界

華岡青洲とその門人たちの軌跡

島根大学附属図書館医学分館大森文庫出版編集委員会編  
ワン・ライン 2008.3  
ISBN : 9784948756496 272p.

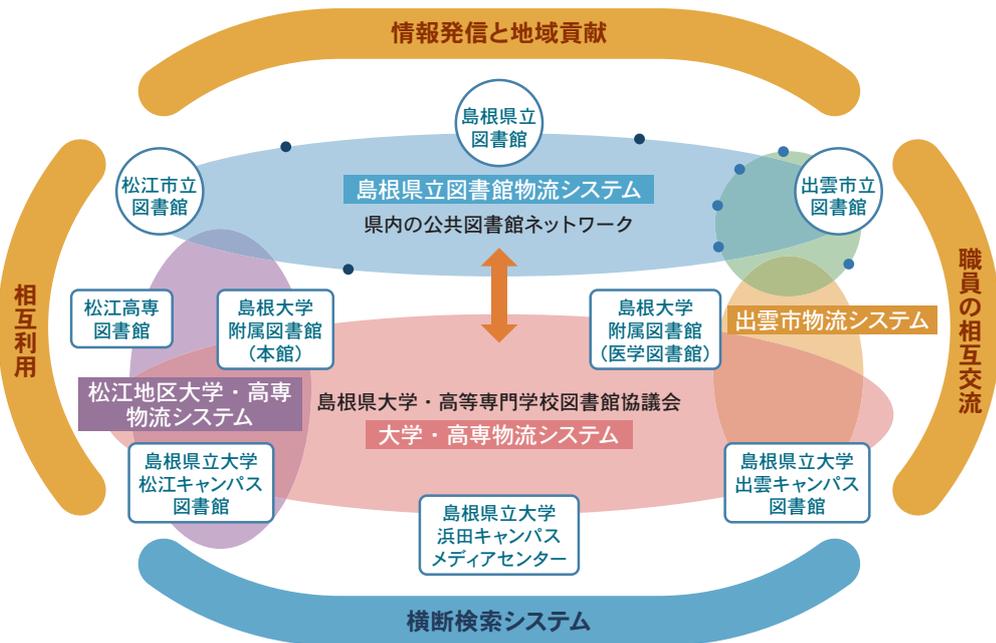
麻酔による乳ガン手術で著名な江戸後期の医師、華岡青洲の門人であった出雲国の医師大森泰輔が書き残した古医書のコレクションである大森文庫をもとに、華岡家の薬理麻酔による外科手術や医学修業の様子、当時の出雲地方における最先端の医療実態などを紹介している。

## 地域図書館ネットワーク

大学図書館など地域の高等教育機関の図書館と公共図書館が相互に連携し、より高次元のサービスを創出するために、館種を越えたネットワークを構築している。各館が持つ特徴を活かし、それぞれの館が持つリソースを活用した発展的な事業を展開している。

- ・2007(平成19)年2月 島根県立図書館、松江市立図書館と相互協力協定を締結
- 11月 島根県立大学出雲キャンパス図書館、出雲市立図書館と相互協力協定を締結
- ・2008(平成20)年4月 島根県大学・高等専門学校図書館協議会設立
- ・2013(平成25)年6月 島根県図書館協会設立

横断検索システム	各館の所蔵資料を相互利用するためのツールとして、「島根県図書館横断検索システム」を公開
相互利用	島根県立図書館の物流システムを利用して、図書の相互貸借を行う。
情報発信と地域貢献	企画展示会や講演会・シンポジウム等を合同で開催し、地域市民の生涯学習に寄与
職員の相互交流	合同企画や職員研修会を通じて、職員同士の相互交流を図る。



## 県内病院図書室等の連携

島根県医療関係機関等図書館(室)懇談会(医図懇)は、「相互間の連絡及び協力を推進し、合わせて医学・医療の進歩発展に寄与する」という目的で、島根大学医学図書館(旧島根医科大学附属図書館)の呼びかけにより、1990(平成2)年に発足した。現在、加盟館は22(病院16、医師会1、看護教育機関1、専修学校2、大学2)で、多様な機関が参加し、総会や研修会を通じて情報交換や業務連携を行っている。

## 企画展示・講演会

相互協力協定に基づき、各館が所蔵する貴重資料による合同展示や講演会・シンポジウム等を開催してきた。貴重資料の公開や関連図書の出版などを通して、地域の生涯学習に貢献する事業を行っている。



### ■これまでの主な企画展示・講演会

出雲にもたらされた華南流医術の世界	2008(平成20)年8月	出雲市立出雲中央図書館(合同開催)
アメリカのラフカディオ	2008(平成20)年10月	松江市総合文化センター(合同開催)
江戸を旅する 明治に学ぶ	2009(平成21)年10月	本館(合同開催)
異国からみたニッポン	2010(平成22)年10月	出雲市立出雲中央図書館(合同開催)
島根大学附属図書館コレクション展	2013(平成25)年2月	松江歴史館(資料協力)

# 本館 Main Library

竣工	昭和53年1月17日
耐震・機能改修	平成25年2月28日
構造	鉄筋コンクリート造3階建、一部4階/ポンプ室
面積	3,949㎡
増築竣工	昭和59年12月25日
機能改修	平成24年11月30日
構造	鉄筋コンクリート造3階建、書庫8層
面積	2,885㎡
合計面積	6,834㎡



室名		面積 ㎡	席数
<b>1F</b>			
開架閲覧室	Reading Room	875	147
展示室	Exhibition Room	51	4
新聞・雑誌コーナー	Newspapers, Magazines Area	51	24
事務室	Office	72	
研究個室(2室)	Study Cubicle	16	5
ホール	Hall	274	13
ラーニングcommons	Learning Commons	78	59
書庫	Stacks	420	2
その他	Others	191	
小計	Total	2,028	254
<b>2F</b>			
開架閲覧室	Reading Room	863	172
グループ学習室(2室)	Group Study Room	38	20
ラーニングcommons2	Learning Commons 2	51	21
PCルーム	PC Room	78	41
AVルーム	Audio Visual Room	51	14
マイクロ資料室	Microfilms Room	30	2
ラウンジ	Lounge	186	17
研究個室(3室)	Study Cubicle	15	3
書庫	Stacks	417	6
その他	Others	221	3
小計	Total	1,950	299

室名		面積 ㎡	席数
<b>3F</b>			
第2貴重資料室	Special Material Room 2	106	
地域資料室	Local Collection Room	90	4
多目的室	Multipurpose Room	122	30
館長室	Director's Office	39	
事務室	Office	318	
文書庫	Document Stacks	23	
保存処理室	Fumigation Room	11	
更衣室	Locker Room	61	
倉庫	Storage	32	
機械室	Machinery Room	139	
作業ラボ	Workroom (Research)	44	
第1貴重資料室	Special Material Room 1	38	
電算機室	Computer Room	62	
電算準備室	Workroom	53	
書庫	Stacks	196	1
その他	Others	373	
小計	Total	1,707	35
積層書庫4~8(屋階を含む)		1,149	6
合計	Total	6,834	594

# 医学図書館 Medical Library

竣工	昭和54年3月19日
耐震・機能改修	平成19年12月20日
構造	鉄筋コンクリート造3階建
面積	1,819㎡

室名		面積 ㎡	席数
<b>1F</b>			
書庫	Stacks	326	1
ビデオ室	Video Room	22	11
事務室	Office	76	
アメニティコーナー	Amenity	30	11
ホール	Hall	44	
サーバ室	Computer Room	10	
その他	Others	106	
小計	Total	614	23
<b>2F</b>			
閲覧室	Reading Room	626	188
運用コーナー	Processing Area	24	
検索コーナー	Research Workstations	20	9
複写室	Copy Room	9	
セミナー室	Seminar Room	40	22
大森文庫室	Omori Collection Room	20	
書庫	Stacks	20	
ホール	Hall	63	
その他	Others	106	
小計	Total	928	219



室名		面積 ㎡	席数
<b>3F</b>			
視聴覚室	Audio Visual Room	74	42
自由閲覧室	Reading Room	54	25
研究開発室	Research & Development Office	28	
書庫	Stacks	21	
その他	Others	100	
小計	Total	277	67
合計	Total	1,819	309

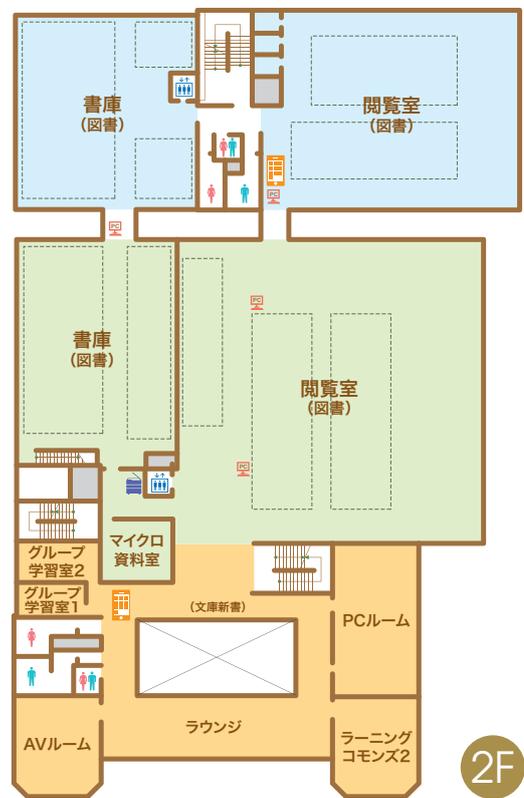
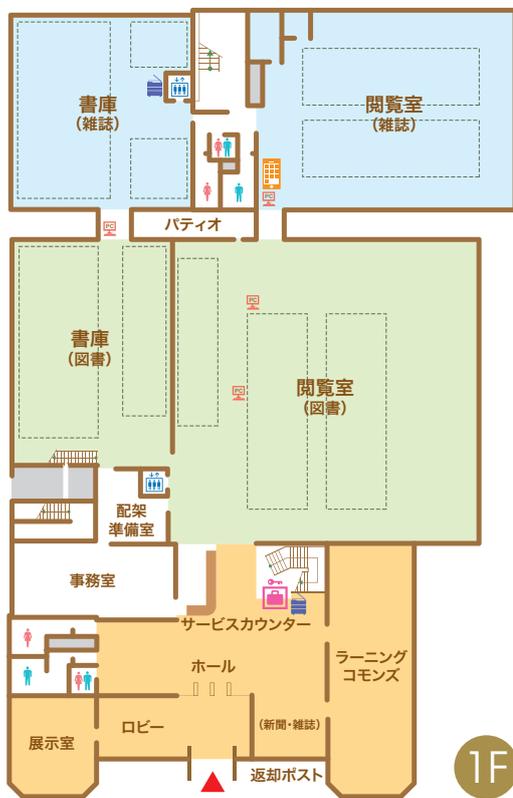
# 本館 Main Library

本館は、平成25年4月にリニューアルオープンした。松江キャンパスの学生・教職員へのサービスを中心に、総合図書館として学内構成員のための学修・研究支援サービスを展開している。また、一般市民の来館も多く、地域の学術情報拠点として地域貢献にも積極的に取り組んでいる。

Main Library reopened in April, 2013. We provides service to all members in Shimane University as a central Library. We also welcome public users and eager to promote academic progress in local communities.

## 交流ゾーン

館内は3つのゾーンに分かれている。入口に近い「交流ゾーン」には、大小2つのラーニングcommonsがある。自習だけでなく、授業やイベントなどにも利用できる、明るく開放的な雰囲気のスペースである。可動テーブルやホワイトボードを利用し、グループ学習を行う多くの利用者で賑わっている。



授業やゼミでも図書館を利用してもらえるよう、人数に応じてグループ学習室やラーニングcommonsの貸切利用が可能である。電子黒板やプロジェクトなどを利用し、多彩な形態の授業ができる。

新聞・雑誌コーナー、ラウンジ、AVルームなどを「交流ゾーン」に集約し、学習目的以外でも利用できるリフレッシュのためのスペースも充実している。



## 学習ゾーン

**利**用の多い学生用図書を中心とした自習のためのスペースで、資料配置の全面的な見直しと書庫をオープンにすることで、利用者が資料にアクセスしやすくなっている。また、床全面をOAフロアとし、すっきりとした室内でパソコンの持ち込みや無線LANの利用をサポートしている。



## 研究ゾーン

**書**庫と、1階開架に新設した大容量の電動集密書架には、学術雑誌を配置している。建物の最も奥にあるため、静かに落ち着いて学習できる。より集中して学習できるよう、5室ある個室も利用できる。



### 積層書庫

8 層	東洋諸国語図書／雑誌 四庫全書、教科書
7 層	島根農科大学図書、和装本、 学位論文、遺跡資料、 法学資料／判例集
6 層	文庫コレクション
5 層	新聞（原紙・縮刷版） 白書／年鑑／統計類
4 層	旧制松高図書、師範学校図書

3階に2室ある貴重資料室は、空調設備や書架類を更新し、室内環境を整備した。また、近くに保存処理室や作業ラボを設け、貴重資料の調査、整理、電子化の促進に対応できるようにしている。

改修工事の際に、積層書庫についても資料配置の大幅な見直しを行った。電子版が利用できる資料を処分し、分散していた同種の資料を1か所にまとめて無駄な空間をなくすことで、10年先を見越した保存スペースを確保している。



# 医学図書館 Medical Library

医学系の専門図書館として、出雲キャンパスの学生及び教職員の教育・研究支援をサービスの中核としており、学内利用者に対しては、深夜の無人化による24時間利用を可能にしている。また、地域に開かれた医学図書館として地域医療に貢献するため、一般市民にも広く公開している。

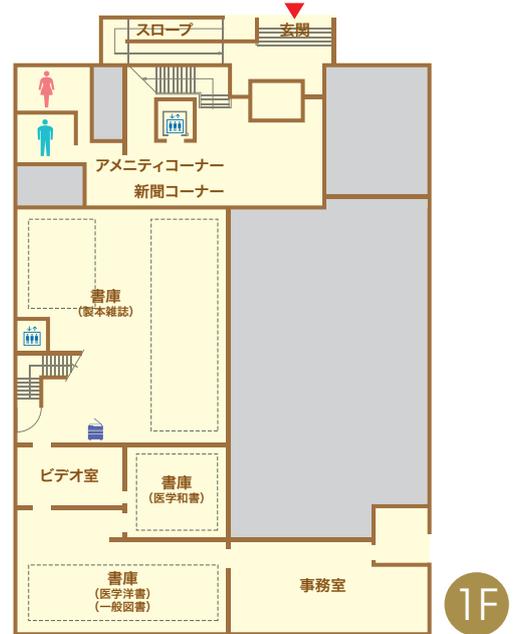
Medical Library aims to offer educational and research supports to students, faculty, and members at the Izumo campus. We also provide service to the public to contribute to local health care.



## 1 階

ゲートの外のスペースに、アメニティコーナーと新聞コーナーを設けている。階段下のスペースを利用したアメニティコーナーでは、飲食を許可しているため、休憩やちょっとした打合せに利用できる。

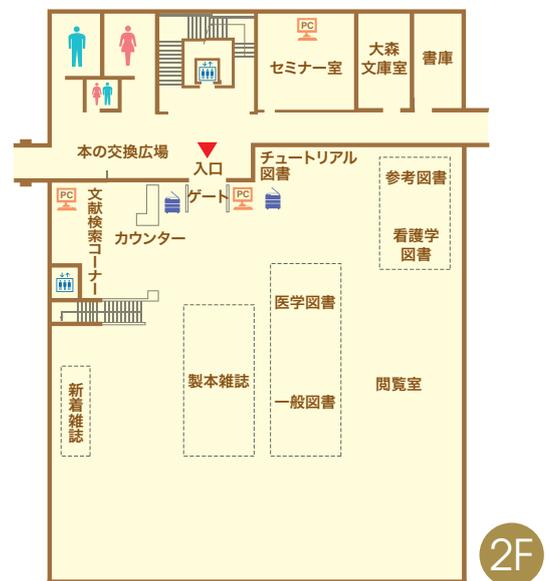
ゲートの中のフロアは開架書庫になっている。



## 2 階

図書館の入館ゲートは2階にある。2階閲覧室には188席あり、学生用図書や学術雑誌等を利用しながら学習できる。蔵書は医学、看護学とその近接領域の分野が中心で、主に米国国立医学図書館分類法(NLMC)で分類している。

セミナー室では図書館の利用説明会や文献検索講習会を開催するほか、グループ学習にも利用できる。本の交換広場は個人が不用になった図書を交換し合うリユースコーナーで、思わぬ掘り出し物が見つかることもあり、よく利用されている。



## 3 階

自由閲覧室には25席あり、静かな一角にあるため学習に最適である。





本館 (松江キャンパス)  
Main Library (Matsue Campus)

JR松江駅からのアクセス

■市内バス利用

●松江市営バス〈松江駅①番乗り場〉

北循環線(内回り)——島根大学下車(約16分)  
大学・川津・あじさい団地方面行き——島根大学下車(約20分)

●一畑バス〈松江駅②番乗り場〉

美保関ターミナル(マリンゲートしまね)各方面行き——島根大学下車(約20分)

■タクシー利用(約10分)

本館 (松江キャンパス)



医学図書館 (出雲キャンパス)  
Medical Library (Izumo Campus)

JR出雲市駅からのアクセス

■市内バス利用

●一畑バス〈出雲市駅北口①番乗り場〉

市民会館・島根医大・上塩治車庫行き——島根医大病院下車(約10分)  
市内循環(左回り)——島根医大入口下車(約10分)

■スサノオ観光バス

根波行き——島根医大病院下車(約10分)

■タクシー利用(約5分)

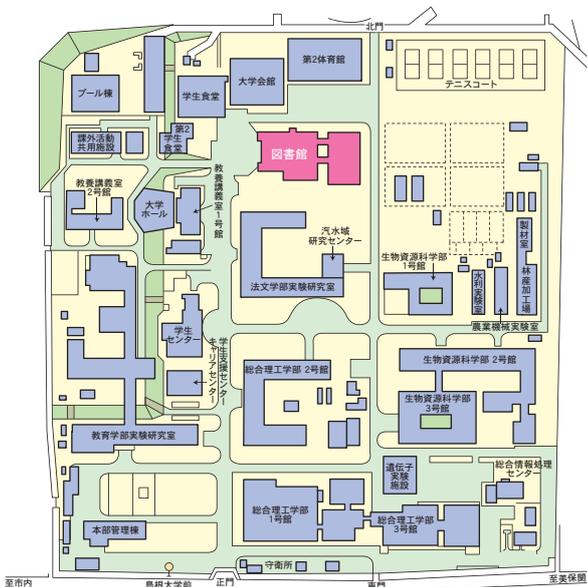
■徒歩 出雲市駅南口より(約20分)

医学図書館 (出雲キャンパス)

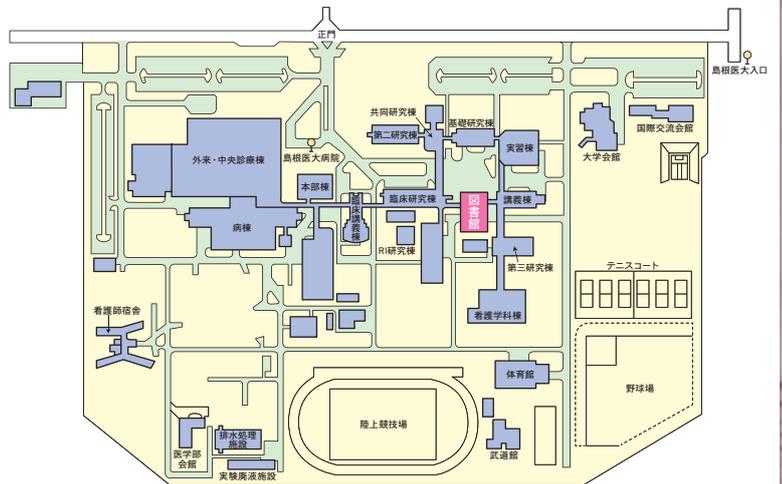


図書館配置図 Campus Map

本館(松江キャンパス) Main Library(Matsue Campus)



医学図書館(出雲キャンパス) Medical Library(Izumo Campus)



# Outline of Shimane University Library

## 利用案内 Library Guide

### 本館 Main Library

#### ■開館時間

月曜～金曜 ..... 8:30～21:30  
(休業期) ..... 9:00～17:00  
土曜・日曜・祝休日 ..... 10:00～17:30  
(休業期は休館)

#### ■休館日

休業期の土曜・日曜・祝休日  
年末・年始(12月28日～1月4日)  
夏季一斉休業日(8月13日～8月15日)  
その他、館長が必要と認めた日

#### ■一般市民へのサービス

館内閲覧  
コピーサービス  
レファレンスサービス(所蔵調査等)  
館外貸出(図書館利用証の発行)

### 医学図書館 Medical Library

#### ■会館時間

月曜～金曜 ..... 9:00～20:00  
土曜・日曜・祝休日 ..... 10:00～16:00

#### ■休館日

年末・年始(12月28日～1月4日)  
夏季一斉休業日(8月13日～8月15日)  
その他、医学図書館長が必要と認めた日

#### ■一般市民へのサービス

館内閲覧  
コピーサービス  
レファレンスサービス(所蔵調査等)  
館外貸出(図書館利用証の発行)

## 島根大学学術情報機構 附属図書館概要

平成25年8月発行

編集発行 島根大学附属図書館

本館/〒690-8504 松江市西川津町1060 TEL(0852)32-6083 FAX(0852)32-6089  
医学図書館/〒693-8501 出雲市塩冶町89-1 TEL(0853)20-2092 FAX(0853)20-2095